

会社の概況

商号 丸善CHIホールディングス株式会社
(Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.)
本社 〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町31番地2
代表番号 03-6735-0785
URL <http://www.maruzen-chi.co.jp>
設立 2010年2月1日
資本金 30億円
事業内容 書籍及び雑誌等の販売、学術情報その他情報提供サービス業、並びに図書館運営受託業務及び図書館等の教育施設の運営代行、建築工事の設計・監理及び請負業、図書、雑誌の出版業等の事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理 他

グループ会社

- 丸善雄松堂株式会社
〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
- 株式会社図書館流通センター
〒112-8632 東京都文京区大塚3-1-1
- 株式会社丸善ジュンク堂書店
〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町11-24
- 丸善出版株式会社
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階
- 株式会社hontoブックサービス
〒141-8001 東京都品川区西五反田3-5-20 DNP五反田ビル

役員

取締役会長	中川 清貴	取締役 監査等委員(社外)	瀬川 静真
代表取締役社長	松尾 英介	取締役 監査等委員	峯村 隆二
常務取締役	五味 英隆	取締役 監査等委員(社外)	茅根 熙和
取締役	石井 昭	取締役 監査等委員(社外)	大胡 誠
取締役	橋本 博文		
取締役	矢野 正也		

2019年

6月中旬

7月31日

9月中旬

9月下旬~
10月上旬

今後のIRカレンダー

- 第10期 第1四半期決算発表
- 中間日(株主権利確定日)
- 第10期 第2四半期決算発表
- 株主様向け「ビジネスレポート」に下記を同封して発送
 - 1株主優待商品券
1単元(100株)以上ご所有の株主様に、全国の丸善・ジュンク堂書店の店舗*でご利用いただける商品券をお送りいたします。
*ご利用店舗一覧は当社ホームページにて公開しております。
 - 2記念株主優待申込はがき



決算情報や株主優待の詳細は
当社ホームページをご覧ください。

<http://www.maruzen-chi.co.jp> 丸善CHI



この報告書は、FSC® 認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しております。

知

BUSINESS REPORT

株主・投資家の皆さまへ

第9期 2018.2.1 - 2019.1.31



売上高構成比

文教市場販売事業 33.5%

売上高 59,335百万円(前年同期比 97.8%)
営業利益 3,239百万円(前年同期比103.7%)

●売上高は593億35百万円(前年同期比2.2%減)と減収となりましたが、比較的粗利益の高い商品の伸長や、設計施工事業等における粗利益率の改善効果もあり、営業利益は32億39百万円(前年同期比3.7%増)と増益となりました。

その他事業 7.3%

売上高 12,872百万円(前年同期比102.7%)
営業利益 623百万円(前年同期比164.2%)

●総合保育サービス事業及びパソコンの修理アップグレード設定等の事業の増収により、売上高は128億72百万円(前年同期比2.7%増)と増収となり、粗利益率の改善もあり、営業利益は6億23百万円(前年同期比64.2%増)と増益となりました。

出版事業 2.4%

売上高 4,300百万円(前年同期比99.6%)
営業利益 0百万円(前年同期比 -)

●専門分野として『統計科学百科事典』『日本都市史・建築史事典』『Learn Python3 the Hard Way 書いて覚えるPython入門』『マネージング・イン・ザ・グレイ ビジネスの難問を解く5つの質問』『ロビンズ基礎病理学 原書10版 電子書籍(日本語・英語版)付』、児童書として『なんでも魔女商会シリーズ26』『どうぶつたちのクリスマスって?』『ゆめのとびらをひらくとき』『びたつとへんしんプレタングラム』など、合計新刊236点(前年245点)を刊行いたしました。売上高は43億円(前年同期比0.4%減)と減収となり、さらに在庫引当及び返品調整引当等の積み増しによる原価増により、営業利益は0.5百万円(前年同期40百万円の営業利益)と減益となりました。

店舗・ネット販売事業 41.8%

売上高 74,046百万円(前年同期比97.8%)
営業利益 33百万円(前年同期比 -)

●引き続き店舗の改装や複合化・多角化を推進するとともに、「Pontaポイント」「dポイント」との提携による共通ポイントサービスの対象店舗の拡充等集客力の向上に注力してきましたが、店舗の撤退に加え大阪北部地震及び西日本豪雨等の異常気象も影響し、売上高は740億46百万円(前年同期比2.2%減)と減収となりました。しかしながら、販管費の削減に努めた結果、33百万円(前年同期3億26百万円の営業損失)の営業利益を計上し、黒字転換を果たしました。

図書館サポート事業 15.0%

売上高 26,486百万円(前年同期比105.3%)
営業利益 2,046百万円(前年同期比125.7%)

●図書館受託館数は、2019年1月末時点で1,365館(公共図書館535館、大学図書館210館、学校図書館他620館)と、期首と同数の受託館数で安定的に推移しました。一方で小規模案件に代わり比較的規模の大きな図書館の新規受託もあり、公共図書館、大学図書館ともに受託総額(売上高)は順調に伸長しております。その結果、売上高は264億86百万円(前年同期比5.3%増)と増収となり、さらに公共図書館を中心に業務改善を進めたこともあり、営業利益は20億46百万円(前年同期比25.7%増)と増益となりました。



丸善CHIホールディングス株式会社

代表取締役社長 松尾 英介

平素より格別のご支援ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、中川清貴(現・取締役会長)の後任として、代表取締役社長に就任いたしました松尾英介でございます。弊社グループの経営理念である「知は社会の礎である」のもと、引き続きお客様が必要とされる知や情報を、時代に即した商品・サービスとして提供し、一層の社会貢献と収益力向上に努めてまいり所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りたく、お願い申し上げます。

弊社グループの2019年1月期業績は、売上高は1,770億41百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益は31億91百万円(同38.7%増)、経常利益は31億16百万円(同38.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は24億24百万円(前年同期は3億21百万円の純損失)の業績となりました。図書館サポート事業が引き続き堅調に推移したことや文教市場販売事業で、大学・教育機関向け設備・工事の原価率が改善したこと、また、店舗・ネット販売事業が営業黒字に回復したこと等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも過去最高益となりました。これも皆様方のご支援のお陰と、厚く御礼申し上げます。

我が国を取り巻く国際環境、社会環境はこれからさらに激しく変化してまいります。その中で、弊社グループは、基幹事業である書籍流通の構造改革を進めるとともに、これからの時代に求められる学びの場作りや、地域コミュニティの活性化など、新規事業領域にも積極的に取り組んでまいります。これらの取り組みを通じて、いつまでも社会に必要とされる企業として変化をおそれず、同時に安定的な利益向上体質を構築することで、株主の皆様をはじめ、より多くの方々にご支持いただき、お客様から選ばれ続ける企業となるべく全力を尽くしてまいります所存です。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「丸善」が創業150周年を迎えました

明治2(1869)年、福澤諭吉の門下であった早矢仕有的が創業した「丸善」。「日本の発展と、人びとの幸福に寄与する」という想いから西洋の知識や文化を日本に紹介し、人と知との出会いをつなぐことができました。そして、2019年1月、「丸善」は150周年を迎えました。丸善雄松堂、丸善ジュンク堂書店、丸善出版として、創業来の想いをしっかりと受け継ぎ、「未知をひらく、これからも。」を合言葉に、時代とともに変化する多様な知との出会いを皆様にお届けしてまいります。150周年の記念事業として、各社ではさまざまな取り組みを行っております。

「丸善」創業150周年記念サイト



<http://150th.maruzen.co.jp/>

丸善雄松堂株

Maruzen eBook Library版『丸善創業150周年記念 學鏡 1897-2018』をリリース



6巻56号(1902年1月)表紙

丸善の「學鏡」は、明治30(1897)年3月の創刊以来、戦時中に数年の休刊を挟みながらも現在まで123年にわたって刊行が続く国内最古の企業PR誌です。「學鏡」には明治の文豪から現代の理工医学系の研究者、さらには芸術家や評論家まで各時代を代表する執筆者からの寄稿が掲載されており、それは単なる一企業のPR誌の域を超えて明治以降の我が国の文化史を反映する内容となっています。また、丸善が我が国に紹介してきた書物、文具から水着までの案内は西洋文化・文明の受容史の貴重な資料であり、併せて掲載された和洋書の案内は近代読書史を克明に記すものでもあります。

このたび、150周年を記念して丸善雄松堂と丸善出版の共同出版により、「學鏡」の創刊号から最新号までの1,274冊を、丸善雄松堂が提供する国内最大の教育・研究機関向け電子書籍サービス「Maruzen eBook Library」を通じて提供する運びとなり、1月より提供を開始しております。

丸善出版株

丸善丸の内本店を始め、丸善ジュンク堂書店各店舗にて2019年1月より書籍フェアを開催 テーマは「次の半世紀まで読み継ぎたい丸善の本」

150周年を記念したイベントを、丸善出版と全国の丸善ジュンク堂書店との共同企画として、1月から順次開催しています。「次の半世紀まで読み継ぎたい丸善の本」をテーマに、識者及び丸善ジュンク堂書店で働く方々に書籍をご選定いただき、これまで刊行した数々の書籍とともに、お店の規模に合わせた展示販売をしています。

また、この展示に合わせて、選定いただいたタイトルとその理由やその本への思いなどを一冊の冊子にまとめました。冊子(写真)は、イベント棚の横などに設置し、お客様には無償でお持ち帰りいただけます。お店によっては、丸善の150年の歴史がわかるパネルや、明治当時に輸入販売していた貴重な万年筆やインク瓶などの実物展示も行っております。150年の歴史を感じながら、また次の世代に読み継がれてほしいという願いを込めた周年企画です。



記念商品を販売

丸善ジュンク堂書店では、150周年を記念してオリジナル商品を販売しております。オリジナル万年筆は「過去」「現在」「未来」をテーマに、それぞれ「Athena the Pen」「檸檬 LEMON」(写真左)「VOYAGE」の3つの商品を数量限定で製作。その他、デルフォニックスやかまわぬ、ROOTOTEなど人気メーカーとコラボしたメモ帳、手ぬぐい、トートバッグなど20種類以上のアイテムを開発いたしました。6月には、150周年記念のハヤシライス「ハヤシビーフ150飛騨牛」(写真右)や「復刻版 タンシチュー」も発売予定です。創業来の想いを受け継ぎつつ、時代とともに変化する多様な知との出会いを皆様にお届けしてまいります。



丸善ジュンク堂書店

記念株主優待を実施



2019年7月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主様を対象に、記念株主優待を実施いたします。詳細につきましては、2月28日公表の『丸善 創業150周年事業に係る記念株主優待の実施に関するお知らせ』をご参照ください。

▶ <http://www.maruzen-chi.co.jp/ir/news/2019/release20190228.pdf>

丸善CHホールディングス株

図書館のない島で初の電子図書館サービスを展開中

久米島町(沖縄県)電子図書館実証事業に採択 2018年11月1日より実施

図書館流通センターは、「平成30年度久米島町電子図書館実証事業」を開始しました。本事業は、内閣府及び久米島町協働による平成30年度沖縄離島活性化推進事業であり、本実証事業の結果を元に、離島での読書環境の充実に向けた取り組みを推進していく予定です。

電子図書館の導入は沖縄県内で初となり、2018年11月1日より利用を開始。さまざまなジャンルの電子書籍5,458タイトルを用意しました。久米島町内に在住又は在勤・在学の方が利用対象で、インターネットに接続されていれば、パソコン、スマートフォン、タブレットを使って場所や時間を問わず電子図書館が利用できます。

今回の事業は、離島における情報格差の解消や読書機会の提供促進を図るためであり、導入の際の課題、対処方法などを整理し、他の離島市町村での電子図書館の利用検討に資するよう取りまとめることを目的としています。



電子書籍体験の様子

図書館流通センター

財政状態 (単位: 百万円)

	当期末 (2019年1月31日現在)	前期末 (2018年1月31日現在)
総資産	132,366	135,003
●流動資産	96,021	98,666
●固定資産	36,224	36,230
(有形固定資産)	20,898	20,676
(無形固定資産)	1,571	1,392
(投資その他の資産)	13,754	14,161
●繰延資産	120	106
負債	94,826	99,716
●流動負債	66,890	71,808
●固定負債	27,935	27,907
純資産	37,540	35,287
●株主資本	36,868	34,444
●その他の包括利益累計額	△ 718	△ 458
●非支配株主持分	1,390	1,301

損益の状況 (単位: 百万円)

	当期 (2018年2月1日から 2019年1月31日まで)	前期 (2017年2月1日から 2018年1月31日まで)
●売上高	177,041	178,349
●営業利益	3,191	2,301
●経常利益	3,116	2,255
●親会社株主に帰属する当期純利益	2,424	△ 321

キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)

	当期 (2018年2月1日から 2019年1月31日まで)	前期 (2017年2月1日から 2018年1月31日まで)
●営業活動によるキャッシュ・フロー	4,919	3,795
●投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,372	△ 2,410
●財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,509	21
●現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△ 8
●現金及び現金同等物の増減額	△ 953	1,398
●現金及び現金同等物の期首残高	22,431	21,032
●現金及び現金同等物の期末残高	21,477	22,431

グループ一覧

当社グループは、日本の知の発展のために、紙や電子の垣根を越えて、あらゆる利用者が「必要なときに、必要な形態で」知を得ることのできる快適なプラットフォームを提供してまいります。



株式の状況

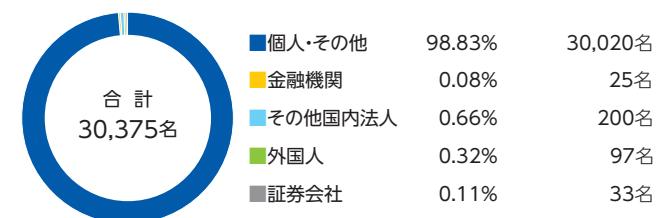
発行可能株式総数	240,000,000 株
発行済株式の総数	92,554,085 株
株主数	30,375 名

大株主一覧

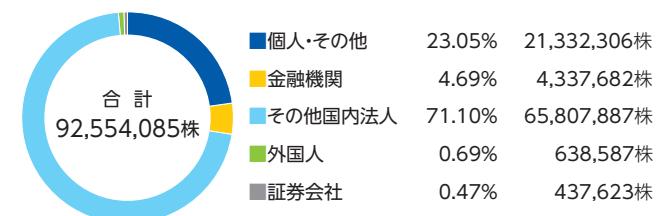
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大日本印刷株式会社	49,528,336	53.51
工藤 恭孝	7,107,410	7.67
株式会社講談社	4,028,000	4.35
株式会社トーハン	3,694,406	3.99
有限会社宝生堂	2,980,780	3.22
株式会社小学館	2,203,500	2.38
丸善CHIホールディングス従業員持株会	1,831,585	1.97
石井 昭	1,510,426	1.63
公益財団法人図書館振興財団	919,368	0.99
日本出版販売株式会社	862,300	0.93

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



※個人・その他には自己株式5,161株を含んでおります。

株主メモ

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
基準日	毎年1月31日
株主総会	毎年4月
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告による公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
〈公告掲載URL〉	http://www.maruzen-chi.co.jp/ir/notification/index.html
上場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	3159

株式事務の取扱場所

株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	〒168-0063
同事務取扱場所	東京都杉並区和泉2-8-4
[郵便物送付先]	三井住友信託銀行株式会社証券代行部
[電話照会先]	電話フリーダイヤル0120-782-031
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社全国各支店

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

配当金のお受け取りについて

配当金を配当金領収証でお受け取りの株主様は、より安全かつ迅速に配当金をお受け取りいただける、口座振込のご利用をおすすめいたします。お手続きについては、上記同様に証券会社もしくは三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。